

会員数 : $M_3 = 258,640$
 ○准看護婦(士)の平均年齢 : $m_4 = 37.6$ 歳
 年齢の標準偏差 : $\sigma_4 = 9.32$
 会員数 : $M_4 = 59,165$ 名

N = 必要標本数

δ = 目標相対精度0.01, 信頼水準95%

M = 母集団

として,

$$N = \frac{M}{\frac{(M-1)(\delta m)^2}{(2\sigma)^2} + 1} = \frac{351,066}{\frac{(351,066-1)(0.01 \times 35.6)^2}{(2 \times 10.25)^2} + 1} \approx 3,285$$

ネイマンの最適配分により各職能別の標本数を次のように算出した。

保健婦(士) : 必要標本数 = N_1

$$N_1 = N \times \frac{M_1 \times \sigma_1}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,285 \times \frac{18,726 \times 9.47}{18,726 \times 9.47 + 14,535 \times 11.97 + 258,640 \times 10.25 + 59,165 \times 9.32} \approx 164$$

助産婦 : 必要標本数 = N_2

$$N_2 = N \times \frac{M_2 \times \sigma_2}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,285 \times \frac{14,535 \times 11.97}{18,726 \times 9.47 + 14,535 \times 11.97 + 258,640 \times 10.25 + 59,165 \times 9.32} \approx 161$$

看護婦(士) : 必要標本数 = N_3

$$N_3 = N \times \frac{M_3 \times \sigma_3}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,285 \times \frac{258,640 \times 10.25}{18,726 \times 9.47 + 14,535 \times 11.97 + 258,640 \times 10.25 + 59,165 \times 9.32} \approx 2,451$$

准看護婦(士) : 必要標本数 = N_4

$$N_4 = N \times \frac{M_4 \times \sigma_4}{M_1 \times \sigma_1 + M_2 \times \sigma_2 + M_3 \times \sigma_3 + M_4 \times \sigma_4}$$

$$= 3,285 \times \frac{59,165 \times 9.32}{18,726 \times 9.47 + 14,535 \times 11.97 + 258,640 \times 10.25 + 59,165 \times 9.32} \approx 510$$

$$\therefore N = N_1 + N_2 + N_3 + N_4 \approx 3,286$$

ただし、回収率を35%と見込み、それぞれ上記の3倍以上をとり、計10,863名を抽出した。

(3) 調査の方法

調査は、郵送法・自記式によった。対象者の勤務先に対象者本人宛てに本会調査研究室より調査票を

郵送し、本人が記入後、直接本会調査研究室に返送するように依頼した（返信用封筒同封）。

(4) 調査時期

調査は、1993年10月1日現在の状況について調査を実施した。調査票の配布は同年10月、回収締切は同年11月10日とした。

(5) 回収状況

有効回収票は5,692票で、回収率は52.4%であった。

実績相対精度（ δ ）を改めて下記のように計算をすると、0.00001で目標相対精度を満たした。

会員全体の平均年齢：m = 36.3歳

年齢の標準偏差： $\sigma = 10.21$

会員数：M = 351,066名

有効回収票数：N = 5,692票

$$\begin{aligned}\delta &= 2 \sqrt{\frac{M-N}{M-1} \times \frac{\sigma^2}{N} \times \frac{1}{m^2}} \\ &= 2 \sqrt{\frac{351,066-5,692}{351,066-1} \times \frac{10.21^2}{5,692} \times \frac{1}{36.3^2}} \\ &\approx 0.00001\end{aligned}$$

(6) 調査の担当

本会普及開発部調査研究室（林幸範）

(7) 本文中の表記

本報告書では、特にことわりがない場合は、会員とは今回の調査回答者をいう。さらに、過去の調査と比較をする場合は、原則として年代を持って調査名とする（例えば、1985年日本看護協会会員実態調査は85年調査など）。また、本文中で〈図〉〈表〉とある場合は、本文中の図表をいい、〈統計表第表〉とある場合は、69ページ以降の統計結果表の表をいう。

2 調査票

次ページを参照。

'93 看護職員実態調査

1993年10月
社団法人 日本看護協会

*特にことわりのない限り、1993年10月1日現在のこととしてお答え下さい。
[はじめに、あなたご自身のことについておたずねします。]

1						6
---	--	--	--	--	--	---

問1 所属看護協会

1. 北海道	2. 青森	3. 岩手	4. 宮城	5. 秋田	6. 山形	7-8
7. 福島	8. 茨城	9. 栃木	10. 群馬	11. 埼玉	12. 千葉	
13. 東京	14. 神奈川	15. 新潟	16. 富山	17. 石川	18. 福井	
19. 山梨	20. 長野	21. 岐阜	22. 静岡	23. 愛知	24. 三重	
25. 滋賀	26. 京都	27. 大阪	28. 兵庫	29. 奈良	30. 和歌山	
31. 鳥取	32. 島根	33. 岡山	34. 広島	35. 山口	36. 徳島	
37. 香川	38. 愛媛	39. 高知	40. 福岡	41. 佐賀	42. 長崎	
43. 熊本	44. 大分	45. 宮崎	46. 鹿児島	47. 沖縄		

問2 日本看護協会会員としての通算年数 *協会に加入していなかった年数は引いて下さい。

今年で 年目 9-10

問3 年齢 満 歳 11-12

問4 性別 1. 女性 2. 男性 13

問5 配偶関係 1. 未婚 2. 既婚 3. 離死別 14

問6 子ども 1. いる 2. いない

→お子さんの人数 人 15

→一番小さいお子さんの年齢 満 歳 16

17-18

問7 最終学歴 *一般学歴・専門学歴それぞれについて、最後に卒業した学校でお答え下さい。
外国の学校を卒業した場合も含まます。
*在学中および中途退学の場合は、最終学歴にはなりません。

一 学 般 学 歴	1. 中学校 2. 高等学校(高校衛生看護科も含む) 3. 短期大学(看護系短大を含む) 4. 大学(看護系大学を含む) 5. 大学院(看護系大学院を含む) 6. 旧教育制度の学校()	19
専 門 学 歴	1. 准看学校 2. 高校衛生看護科 3. 看護学校(進学コース) 4. 高校専攻科(進学コース) 5. 看護短大(進学コース) 6. 高等看護学校(3年課程) 7. 看護短大(3年課程) 8. 保健婦学校 9. 助産婦学校 10. 保健婦助産婦学校(専門学校) 11. 看護系大学 12. 看護系大学院修士課程 13. 看護系大学院博士課程 14. 旧教育制度の学校()	20 21

問8 所持免許 *お持ちの免許すべてに○をつけて下さい。

1. 保健婦	2. 助産婦	3. 看護婦(士)	4. 准看護婦(士)	22 23 24 25
--------	--------	-----------	------------	-------------

問9 看護職としての通算経験年数 *現在離職中の方は、離職した時点の年数でお答え下さい。

□ : □ □ : □ □ : □	年目	26・27
-------------------------	----	-------

問10 現在の勤務形態

1. 自営業(内容)	2. 正職員	28
3. 臨時職員(勤務時間が正職員と同じ)	4. パートタイマー・アルバイト	
5. 産休中	6. 育児休業中	
7. その他の休暇・休業中(5・6を除く)	8. 離職中(定年退職を含む)→問28へ	

問11 現在の職種(主な業務) *1つだけ○をつけて下さい。

1. 保健婦	2. 助産婦	3. 看護婦(士)	4. 准看護婦(士)	29
5. 看護教員	6. その他()			

問12 現在の職位

1. 非管理職(一般の保健婦、助産婦、看護婦(士)、准看護婦(士)、専任教員など)	30
2. 中間管理職(病棟婦長、病棟主任、保健所・市町村の係長など)	
3. 管理職(看護部長、副看護部長、学部長、都道府県の係長、市町村の課長など)	

問13 現在の勤務場所 *社会福祉施設であると同時に、病院の認可を受けている場合は「1. 病院」として下さい。

→ 1. 病院 → 許可病床数 → 病院の種類 → 病院の設置主体	2. 診療所 3. 老人保健施設 4. 都道府県庁・省庁 5. 保健所 6. 市町村役場(保健センターを含む) 7. 看護教育機関 8. 7以外の学校(内容) 9. 会社・事業所 10. 検(健)診センター・労働衛生機関 11. 社会福祉施設(内容) 12. 助産所 13. その他(内容)	31 32 32
	1. 49床以下 2. 50~99床 3. 100~299床 4. 300~499床 5. 500~899床 6. 900床以上	33
	1. 精神病院 2. 結核またはらい療養所・伝染病院 3. 老人病院 4. 療育を主とする病院 5. リハビリテーションを主とする病院 6. 大学病院 7. 総合病院 8. 一般病院	34
	1. 国立(厚生省) 2. 国立(文部省) 3. 国立(その他) 4. 都道府県 5. 市町村 6. 日赤 7. 厚生連・北海道社会事業協会・国保連合会・済生会 8. 厚生団・船員保険会・健保連・国保組合・共済組合・全国社会保険連合 9. 学校法人 10. 医療法人・個人 11. 会社・公益法人・その他の法人	35 36

'93看護職員実態調査

[あなたの職場の労働条件についておたずねします。自営業の方は、問21にお進み下さい。]

問14 あなたの1週間あたりの所定労働時間は何時間ですか。所定の休憩時間は除いてお答え下さい。

週 時間 分 37-40

問15 あなたはこの1ヵ月の間に、実際に超過勤務を何時間しましたか。1993年9月についてお答え下さい。超過勤務手当がつかなかった時間数も含まれます。

1. 超過勤務をした
 2. 超過勤務はしなかった

→ 時間 分 41
42-45

問16 夜間の勤務についておたずねします。あなたは、現在夜勤をとまなう勤務をしていますか。

1. 職場に夜勤はない 46

2. 職場に夜勤はあるが現在は夜勤をしていない(日勤のみ)

3. 三交替制 47

4. 変則三交替制(日勤・準夜勤・深夜勤の各勤務帯の勤務時間の長さが異なるもの)

5. 当直制(夜間は当直室等で仮眠しながら緊急時に備えるもの)

6. 二交替制・変則二交替制

7. 夜勤専従

8. 婦長当直(夜勤婦長を含む)

9. 寮または自宅で待機(緊急時の呼び出しに応じて勤務につくもの)

10. その他の夜勤体制

→ SQ1 [「三交替制」や「変則三交替制」で勤務をしている方におたずねします。]

A. 1993年9月の準夜勤・深夜勤のそれぞれの回数をお答え下さい。

準夜勤 回 48-49

深夜勤 回 50-51

B. また、夜間看護手当は1回につきいくらですか。夜間割増分を除いた定額分について、準夜勤・深夜勤別にお答え下さい。

準夜勤1回 円 52-55

深夜勤1回 円 56-59

→ SQ2 [「当直制」や「二交替制・変則二交替制」で勤務をしている方におたずねします。]

A. 1993年9月の夜勤の回数をお答え下さい。

当直・夜勤 回 60-61

B. また、夜間看護手当は1回につきいくらですか。夜間割増分を除いた定額分についてお答え下さい。

当直・夜勤1回 円 62-66

問17 所定の週休の形態についてお答え下さい。

1. 週休1日 67

2. 週休1日半(半日とは土曜日などの半日勤務)

3. 完全週休2日

4. 月3回週休2日

5. 月2回週休2日(隔週週休2日・4週6休制を含む)

6. 月1回週休2日(4週5休制を含む)

7. その他()

問18 あなたの昨年1年間の有給休暇についておたずねします。有給休暇とは別に定められている年末年始の休暇や夏期休暇などは除いてお答え下さい。

- A. あなたの昨年の所定有給休暇は何日でしたか。…………… 日 68・69
 ただし、前年度の繰越分は含みません。
- B. あなたは、昨年1年間に有給休暇を何日取りましたか。… 日 70・71

問19 あなたの職場では、介護休暇制度が設けられていますか。

- | | |
|-----------------------|----|
| 1. 介護休暇制度はある | 72 |
| 2. 介護休暇制度はない | |
| 3. 介護休暇制度があるかどうかわからない | |

問20 あなたは、生理休暇をとっていますか。

- | | |
|---------------------|----|
| 1. だいたいとっている | 73 |
| 2. あまりとっていない | |
| 3. 全くとっていない | |
| 4. 該当しない(閉経後・看護師など) | |
| 5. 生理休暇は認められていない | |

問21 1ヶ月の収入についておたずねします。できましたら1993年10月の給料明細書をご用意下さい。あなたの給与総額、及び基本給額はそれぞれおいくらですか。
 なお、自営業主の方は、必要経費を差し引いた実収入額を月平均になおし、税込給与総額としてその項だけお答え下さい。

- A. 税込給与総額 …………… 円 74-79
 (基本給に調整手当・夜勤手当等の諸手当を含めた総額)
- B. 基本給額 …………… 円 1
 2-7
- C. 時給 …………… 円/時間 8-11
 (臨時・パート・アルバイトの方がお答え下さい。)

[問22～問24は、1990年12月以降に仕事を続けながら妊娠・出産を経験された方だけにおたずねします。それ以外の方は、問25にお進み下さい。]

問22 あなたは、実際に産後に休暇を何週間取りましたか。また、その内訳もお答え下さい。

- 産後に実際に取った休暇 …………… 計 週 12・13
- 内訳：産後休暇として …………… 週 14・15
- 年次休暇として …………… 週 16・17
- 育児休暇(業)として …………… 週 18・19
 (産休の終了時から数えはじめて)
- その他() …………… 週 20・21

'93看護職員実態調査

問23 あなたは、産前にどのような母性保護及び育児支援措置を受けましたか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 夜勤・当直免除	2. 夜勤・当直日数の軽減	22・23
3. 超過勤務免除	4. 時差通勤	24・25
5. つわり休暇	6. 通院休暇	26・27
7. 配置転換		28
8. その他の措置()		29
9. 特に措置は受けなかった		30

→妊娠何ヶ月目からの免除でしたか。 月目 31・32

問24 また、産後にどのような母性保護及び育児支援措置を受けましたか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 夜勤・当直免除	2. 夜勤・当直日数の軽減	33・34
3. 超過勤務免除	4. 育児時間	35・36
5. 育児休業・休暇	6. 勤務時間の短縮	37・38
7. 出退時間帯への配慮	8. 乳児検診休暇	39・40
9. 病児看護休暇	10. 配置転換	41・42
11. その他の措置()		43
12. 特に措置は受けなかった		44

→出産後何ヶ月までの免除でしたか。 月 45・46

[あなたの職歴についておたずねします。]

問25 今のお勤め先は、現在勤務何年目にあたりますか。

現在勤務 年目 47・48

問26 今のお勤め先で、過去5年間の間に配置転換がありましたか。

1. 配置転換があった	49
2. 配置転換はなかった	

→一番新しい配置転換について、あなたは満足していますか。

1. 満足している	2. どちらでもない	3. 不満である	50
-----------	------------	----------	----

問27 転職経験についてうかがいます。あなたはお勤め先を変わった経験がありますか。

1. 転職経験がある	51
2. 転職経験はない	

→現在のお勤め先はいくつ目の職場にあたりますか。なお、転勤は含みません。

現在 目目の職場 52・53

「進学や職業に対する考え方などについておたずねします。」

問28 あなたは、看護系以外の4年制の大学に進学したいですか。

- | |
|--------------|
| 1. 進学したい |
| 2. できれば進学したい |
| 3. 進学を考えていない |
| 4. すでに卒業した |
| 5. 現在在学中 |

54

→どのような分野に進学したいですか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

- | | | | |
|-----------|--------|--------|--------|
| 1. 福祉学 | 2. 教育学 | 3. 社会学 | 4. 心理学 |
| 5. 家政学 | 6. 医学 | 7. 薬学 | 8. 語学 |
| 9. その他() | | | |

55 56 57 58

59 60 61 62

63

問29 あなたは、看護系の4年制の大学へ進学したいですか（編入学も含みます）。

- | |
|------------------|
| 1. 進学したい |
| 2. できれば進学したい |
| 3. 進学を考えていない |
| 4. すでに卒業した・現在在学中 |

64

→それは、働きながらでしょうか。

- | | |
|----------------------|----------------|
| 1. 働きながら進学したい | 2. 職場をやめて進学したい |
| 3. 進学休暇・研修等の扱いで進学したい | 4. どちらでもよい |

65

→あなたは4年制大学に進学する際に、どのような条件整備を望みますか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

- | | |
|--------------------------------------|----|
| 1. 社会人が入学・編入学しやすいよう選抜方法を配慮する | 66 |
| 2. 専修学校の卒業生が大学2年生以上に編入学できるように制度を改正する | 67 |
| 3. 専修学校で学んだことを評価し、大学卒業に必要な単位を少なくする | 68 |
| 4. 夜間の学部を作る | 69 |
| 5. 奨学金を得やすくする | 70 |
| 6. その他() | 71 |

問30 [准看護婦(士)の方のみお答え下さい。]

あなたは、進学コースへ進学したいですか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

- | | | |
|---------------------|---------------------|-------|
| 1. 進学したい | 2. 個人的な条件が整えば、進学したい | 72 73 |
| 3. 学校側の条件が整えば、進学したい | 4. 職場の条件が整えば、進学したい | 74 75 |
| 5. 進学を考えていない | 6. 現在在学中 | 76 77 |

→では、進学コースへ進学する際に、どのような条件整備を望みますか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

3 1

- | | | |
|----------------|----------------|-----|
| 1. 昼間部の学校を多くする | 2. 夜間部の学校を多くする | 2 3 |
| 3. 通信制を導入する | 4. 推薦入学を増やす | 4 5 |
| 5. 入試科目を減らす | 6. 奨学金を得やすくする | 6 7 |
| 7. その他() | | 8 |

'93看護職員実態調査

問3 1 あなたは職業継続について、どのようにお考えですか。A. B. C. の各質問ごとに、あなたの意見に最も近いもの1つに○をつけて下さい。

A. 職業継続と結婚・出産	1. 結婚・出産にかかわらず働き続ける 2. 結婚・出産を機に退職し、子どもが手を離れたら再就職する 3. 結婚・出産まで働く	9
B. 職業継続と職場移動	1. なるべく1つの勤め先で仕事を続けたい 2. 自分に合った職場を探して勤め先を変える	10
C. 看護職としての職業継続	1. 看護職として仕事を続けたい 2. 仕事内容に自分の受けた看護の教育・資格・経験が生かせるなら、職種にこだわらない 3. 看護職以外の仕事をしたい	11

問3 2 あなたは、現在の仕事に対して満足していますか。

1. 非常に満足している	2. 満足している	3. どちらともいえない	12
4. 不満である	5. 非常に不満である		

問3 3 あなたは、現在どの領域で働いていますか。

1. 臨床(急性期)	2. 臨床(慢性期)	3. 地域	4. 管理	13 14 15 16
5. 教育・研究	6. その他()			17 18

問3 4 では、あなたは、今後どの領域で自分を生かしたいとお考えですか。

1. 臨床(急性期)	2. 臨床(慢性期)	3. 地域	4. 管理	19 20 21 22
5. 教育・研究	6. その他()			23 24

問3 5 あなたは、次のようなところで働いてみたいと思いますか。

老人看護	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない	4. 現在就業中	25
在宅ケア	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない	4. 現在就業中	26
精神科看護	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない	4. 現在就業中	27
福祉関係	1. 思う	2. 思わない	3. どちらともいえない	4. 現在就業中	28

問3 6 あなたは、ご自分がどちらに向いていると思いますか。あなたが近いと思っている方の番号1つに○をつけて下さい。

1. 一刻をあらそう場合に適切な判断処置をすること	29
2. 患者が自分の健康問題に立ち向かえるようにじっくり援助すること	
3. どちらともいえない	

問3 7 次の意見の中で、あなたのお考えに近い方の番号1つに○をつけて下さい。

1. 特定分野を極め、深めたい	30
2. 特定分野にこだわらないで、幅広く対応できるようになりたい	
3. どちらともいえない	

問38 あなたはどのような新聞をよくお読みになりますか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 朝日新聞	2. 読売新聞	3. 毎日新聞	4. 産経新聞	31	32	33	34
5. 日経新聞	6. 地元紙()			35	36		
7. その他()							37

問39 あなたはどのような専門雑誌等をお読みになりますか。当てはまるものすべてに○をつけて下さい。

1. 日本看護協会調査研究報告	2. 看護	3. 看護管理	38	39	40
4. 看護展望	5. ざ・そーふちよう	6. 病院	41	42	43
7. 病院新聞	8. 社会保険旬報	9. 週刊社会保障	44	45	46
10. 生活教育	11. 地域保健	12. 保健婦雑誌	47	48	49
13. 周産期医学	14. 助産婦	15. 助産婦雑誌	50	51	52
16. ペリネイタル ケア	17. 小児看護	18. ICUとCCU	53	54	55
19. 精神科看護	20. 安全衛生タイムス	21. エキスパート ナース	56	57	58
22. 看護学雑誌	23. 看護技術	24. 看護実践の科学	59	60	61
25. 月刊ナーシング	26. ナーシング・トゥデイ	27. ナース専科	62	63	64
28. ナースデータ	29. ナースプラスワン	30. 臨牀看護	65	66	67
31. 看護教育	32. 看護研究	33. INR日本版	68	69	70
34. その他()					71

問40 日本看護協会へのご意見ご要望がありましたら、下の余白にご自由にお書き下さい。 72

ご協力どうもありがとうございました。なお、記入もれがなごありますと、せっかくのお答えが無駄になることがございますので、ごめんどうでも、もう一度記入もれのご確認をお願いいたします。なお、本調査についてのお問合わせは、下記までお願いいたします。

社団法人 日本看護協会 調査研究室(担当: 林・奥村)
〒150 東京都渋谷区神宮前5-8-2
TEL 03-3400-8331 内線230・231